

令和5年度 第2回
周南市大田原自然の家運営協議会
会議録

日 時：令和6年3月11日（月）16時00分から
会 場：周南市中須市民センター

【会 議 次 第】

- 1 開 会
- 2 周南市民憲章唱和
- 3 課長あいさつ
- 4 委員・事務局自己紹介
- 5 議 事
 - (1) 令和5年度事業報告並びに利用状況について
 - (2) 令和6年度事業状況について
 - (3) 大田原自然の家移転に関する進捗状況について
- 6 閉 会

令和5年度 第2回周南市大田原自然の家運営協議会 会議録

日 時 令和6年3月11日（月）16時00分 ～ 17時00分
場 所 周南市中須市民センター
出席委員 6名（東 優美、飯田 唯志、岩政 敏和、河辺 哲也、佐伯 妙子、
古元 充成）
事務局職員 5名（生涯学習課：川上 浩史、幡歩 慎次、東影 淑子、市子原 玲菜）
（公益財団法人周南市ふるさと振興財団：松永 和則）
傍 聴 人 なし

会 議 議 事 録

1 開 会

2 周南市民憲章唱和

3 課長あいさつ

4 委員・事務局自己紹介

5 議 事

- (1) 令和5年度事業報告並びに利用状況について
- (2) 令和6年度事業状況について
- (3) 大田原自然の家移転に関する進捗状況について

会 長：それでは、議事を進めさせていただきます。議事の（1）と（2）は関連しておりますので、事務局から一括して説明をお願いします。

～資料により事務局説明～

会 長：ただいまの説明を受けてご意見やご質問があればご発言ください。

会 長：須磨小学校で、2月に「餅つき体験」の出張指導を利用して、地域連携が非常に促進できた。体験活動を実施したいが、交通費がネックになりできない、という意見が多くあるので、出張指導を充実してもらえると学校は非常にありがたい。また、そこでつながりができれば、学校の施設利用等も促進されるのでは。

会 長：その他、よろしいでしょうか。それでは、次第の議事（3）大田原自然の家移転に関する進捗状況について、事務局から説明をお願いします。

～資料により事務局説明～

- 会長：ただいまの説明を受けて、ご意見やご質問があればご発言ください。
- 委員：関係団体との意見交換から、プールについて、防災に関する取組みの中で活用することはできないか。例えば、河川の水難事故防止プログラムなど。
- 事務局：プールについて、休校になってからは使用しておらず、漏水があるため、水を張ること自体が難しい。また、ろ過機など、水質管理の問題もある。現実的には難しいということをご理解いただきたい。
- 防災に関する取組みとして、キャンプ等の体験を通して、自分の身を自分で守る方法が自然と身に着くような活動をしている。例えば、ロープワークや食事の準備など。また、集団生活の中でどうすれば快適に過ごせるのか、子供たちが知ることでも大切で、防災につながる体験だと考えている。
- 自然の中で限られた資源を使い活動する中で、SDGs についての学びに波及することも期待できるのではないかと考えている。
- 委員：マウンテンバイクの拡充について、具体的にはどういうプログラムを検討しているのか。屋内活動か、屋外活動か。
- 事務局：あくまでも移動手段のひとつとして活用していく予定。地域内の移動や、八代まで移動して鶴を見学するなど。
- 委員：中須中学校から坂を降りる際、安全面に問題はないか。
- 事務局：坂などの危険箇所があれば、安全な場所まではマウンテンバイクを押して移動してから乗車するなど、安全面には配慮したい。
- 委員：改修計画のイメージがつかめない部分がある。中須中学校を見学できないか。
- 事務局：校舎内の見学については、希望者の方と改めて日程調整をしたい。
- 委員：体育館やグラウンドの活用については、どう考えているか。
- 事務局：体育館は特別警戒区域にあたるので、雨天時の利用制限をしながら活用していく予定。現・大田原自然の家の体育館は狭いので、移転によって活動ができなくなる取組はない。グラウンドには屋外活動場を設置する予定。
- 委員：シャワーは味気ないので、いずれは風呂を作ってほしい。
- 委員：大田原自然の家の五右衛門風呂は、子供であれば、一度に7～8人くらい入浴できる。子供たちには、ぜひ窯焼き体験をしてもらいたい。煤も活用できる。
- 事務局：校舎の改修を優先して計画しているので、校舎まわりは追々検討していきたい。
- 委員：バリアフリー化について、「取り組み可能なものは対応」は消極的ではないか。多目的トイレは1階にあり、宿泊室は2階にあるが、利用に問題はないか。
- 事務局：多目的トイレを利用する必要がある場合は、1階にある宿泊室の利用を案内したいと考えている。
- 委員：1階の宿泊室は、定員が何人くらいになるか。子供が、集団・班から離れずに、利用できるように整備すべき。
- 事務局：校長室は宿泊室として、ベッドを置くことを検討しているので、定員は少なくなる。建築課等と協議しながら、可能な範囲でバリアフリーに取り組んでいきたい。
- 委員：アスベストについて、「適切に対応」とはどういうことか。
- 事務局：現在、アスベストが飛散するおそれはないが、改修の中で、飛散するおそれが出

てくれば、対策を取りながら工事を進めていく。

会 長：よろしいでしょうか。また、随時、情報提供をお願いします。その他、事務局から何かございますか。

事務局：今後、委員の皆さんからご意見をいただきながら運営方針を組立てていきたい。ご協力をお願いします。

会 長：予定の議事につきましては、皆様のご協力により、すべての審議が終わりました。それでは司会を、事務局にお返しいたします。

事務局：以上をもちまして、令和5年度第2回周南市大田原自然の家運営協議会を終了いたします。

6 閉 会
